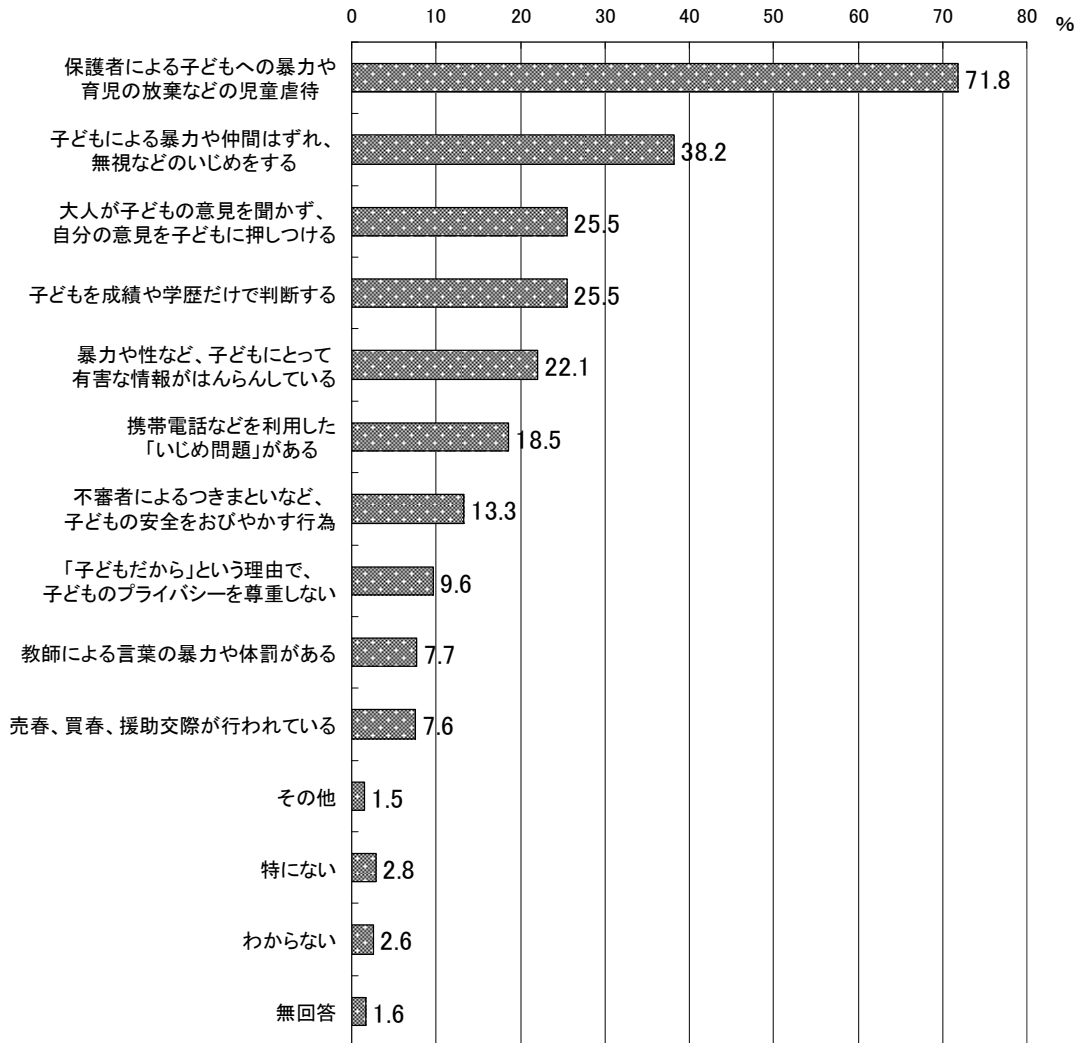


### 3. 子どもの人権について

#### 問7. 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること

子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われることについては、「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」が71.8%で最も多く、次いで「子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする」が38.2%、「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに押しつける」、「子どもを成績や学歴だけで判断する」が25.5%などとなっている。

問7-1 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること(N=918、複数回答3)



#### 【性別】

性別にみると、大差はない。

#### 【年代別】

年代別にみると、年代が低くなるほど、「携帯電話などを利用した『いじめ問題』がある」の割合が高くなる。

問7-2 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること

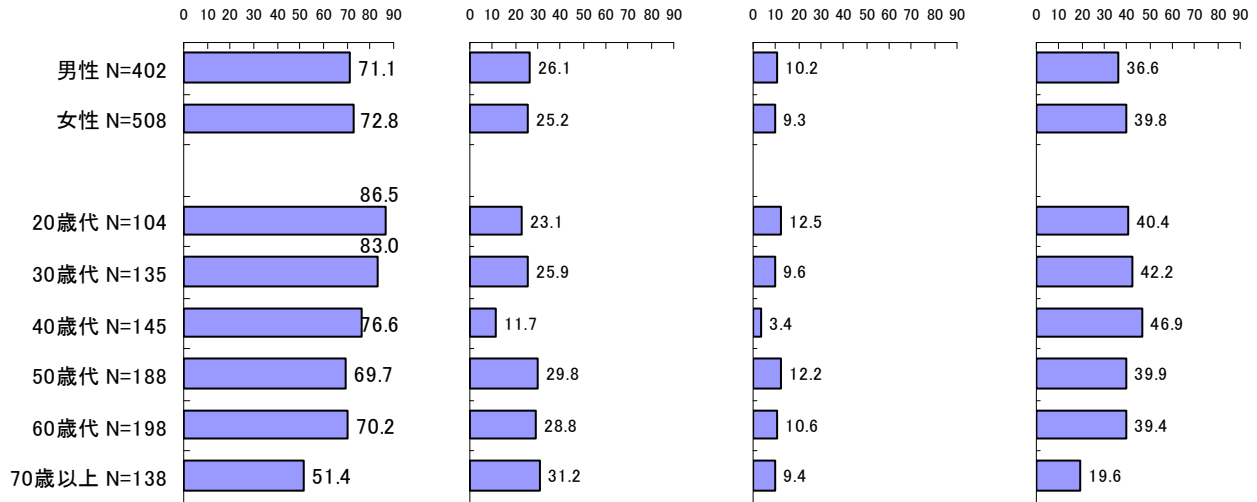
単位：%

保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待

大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに押しつける

「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しない

子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする

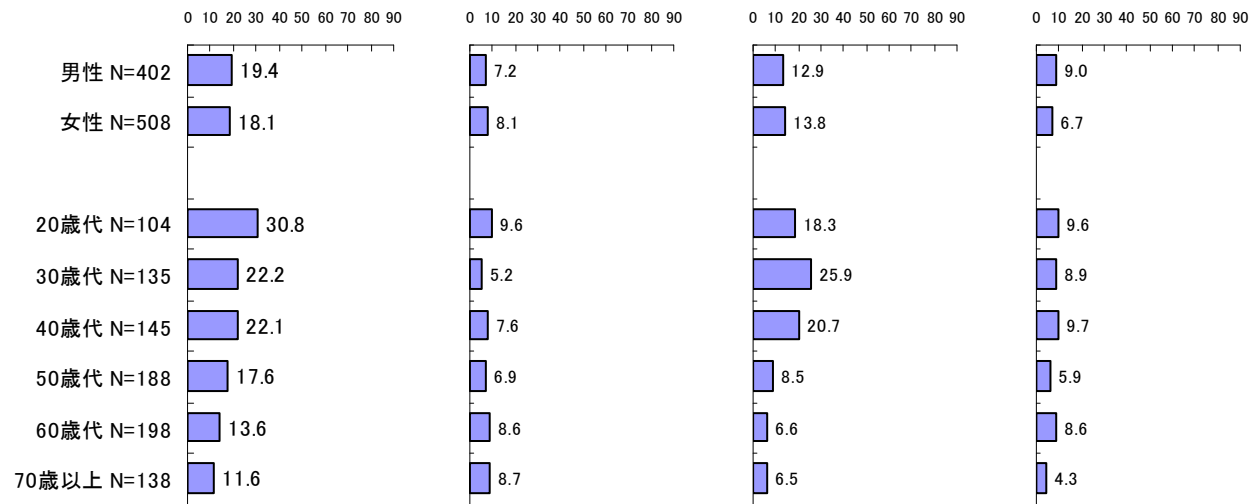


携帯電話などを利用した「いじめ問題」がある

教師による言葉の暴力や体罰がある

不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為

売春、買春、援助交際が行われている

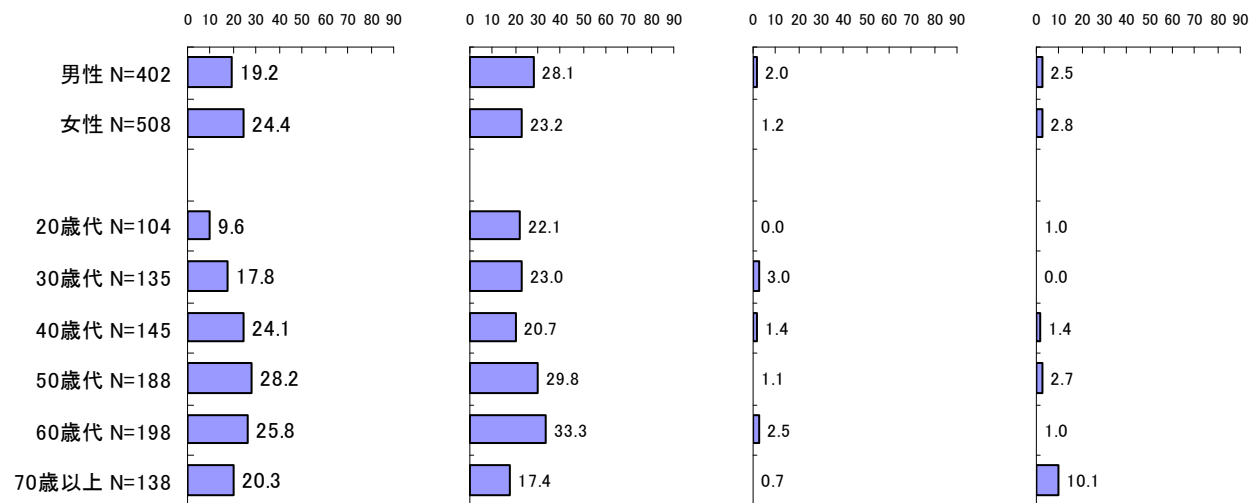


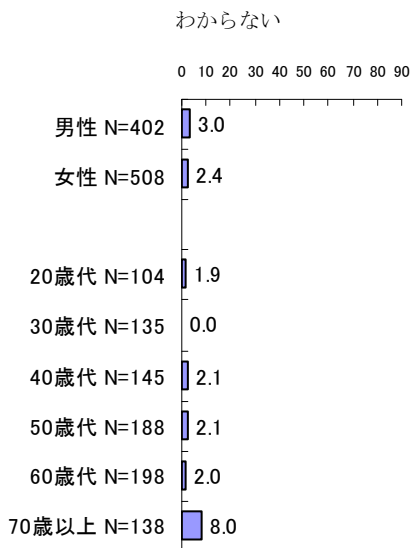
暴力や性など、子どもにとって有害な情報は隠している

子どもを成績や学歴だけで判断する

その他

特にない





【職業別】

職業別にみると、「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」の割合は、学生、パート・アルバイト、会社員・団体職員、公務員、農林水産業では 75%を超え、他と比べて高い。「子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする」の割合は、学生、会社員・団体職員、パート・アルバイト、主婦・家事手伝いで他と比べて高い。「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに押しつける」の割合は農林水産業で他と比べて高い。

問 7-3 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%

	N	保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待	大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに押しつける	「子どもだから」という理由で、子どもものプライバシーを尊重しない	子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする	携帯電話などを利用した「いじめ問題」がある	教師による言葉の暴力や体罰がある	不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	売春、買春、援助交際が行われている	暴力や性など、子どもにとって有害な情報がはんらんしている	子どもを成績や学歴だけで判断する	その他	特にな	わからない	無回答
総数	918	71.8	25.5	9.6	38.2	18.5	7.7	13.3	7.6	22.1	25.5	1.5	2.8	2.6	1.6
農林水産業	37	75.7	40.5	16.2	27.0	13.5	5.4	-	5.4	27.0	37.8	-	2.7	-	2.7
自営業	89	61.8	31.5	12.4	36.0	23.6	6.7	9.0	6.7	24.7	20.2	1.1	5.6	-	2.2
公務員	49	77.6	30.6	18.4	26.5	14.3	12.2	12.2	10.2	24.5	18.4	2.0	-	-	2.0
会社員・団体職員	241	78.8	25.3	9.1	44.0	16.6	5.0	18.7	8.3	17.8	32.0	2.5	0.4	1.7	-
学生	23	95.7	13.0	8.7	52.2	39.1	8.7	17.4	-	4.3	8.7	-	-	-	-
パート・アルバイト	75	80.0	26.7	9.3	44.0	20.0	6.7	16.0	13.3	29.3	21.3	-	-	-	-
主婦・家事手伝い	151	73.5	17.9	6.6	44.4	21.2	7.3	13.9	7.9	29.8	25.2	1.3	2.6	2.0	2.0
無職	139	65.5	23.7	7.9	34.5	17.3	10.8	9.4	7.2	20.1	29.5	1.4	4.3	5.8	-
その他	70	64.3	25.7	7.1	32.9	17.1	12.9	15.7	7.1	12.9	10.0	2.9	2.9	10.0	4.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」の割合は3世代の世帯で高い。「子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする」の割合は、夫婦と子、一人親と子の世帯で他と比べて高い。

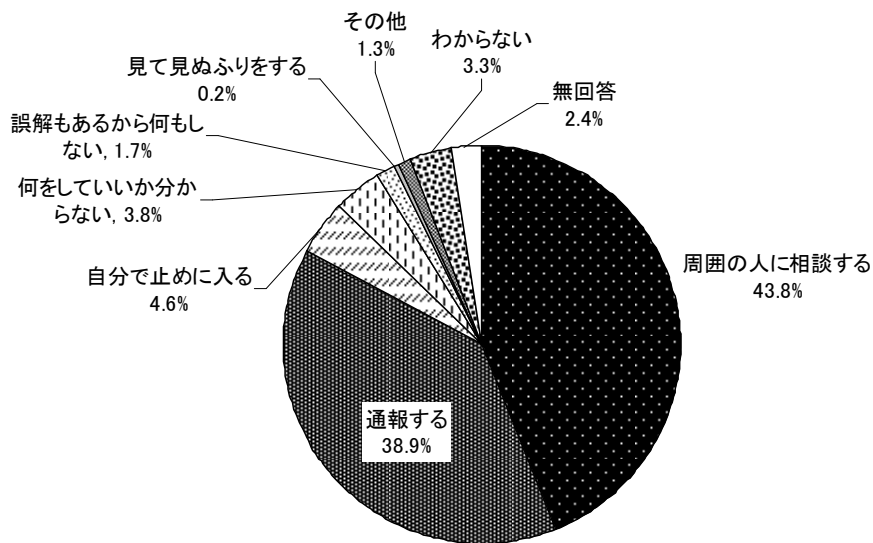
問 7-4 子どもに関する人権上の問題で特に問題があると思われること 単位：%

	N	保護者による子どもへの暴力や育児放棄などの児童虐待	大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見で子どもに押しつける	「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しない	子どもによる暴力や仲間はずれ、無視などのいじめをする	携帯電話などを利用した「いじめ問題」がある	教師による言葉の暴力や体罰がある	不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	売春、買春、援助交際が行われている	暴力や性など、子どもにとって有害な情報がはらんしている	子どもを成績や学歴だけで判断する	その他	特にな	わからな	無回答
総数	918	71.8	25.5	9.6	38.2	18.5	7.7	13.3	7.6	22.1	25.5	1.5	2.8	2.6	1.6
単身	73	65.8	23.3	9.6	30.1	21.9	5.5	6.8	9.6	16.4	19.2	2.7	4.1	9.6	4.1
夫婦のみ	175	69.7	31.4	9.7	32.6	13.1	6.3	6.9	7.4	28.6	26.9	1.7	1.1	2.3	1.7
夫婦と子	371	71.2	21.8	9.7	44.5	23.2	9.7	19.7	8.9	19.7	25.3	1.6	2.2	1.3	1.1
夫婦と親	39	69.2	15.4	7.7	38.5	12.8	2.6	10.3	2.6	30.8	25.6	-	7.7	5.1	5.1
3世代	133	83.5	30.1	8.3	35.3	15.8	4.5	13.5	6.0	21.1	25.6	0.8	2.3	0.8	-
一人親と子	66	71.2	27.3	9.1	40.9	12.1	12.1	9.1	3.0	24.2	27.3	1.5	4.5	1.5	1.5
その他	54	68.5	29.6	14.8	29.6	20.4	9.3	7.4	11.1	18.5	27.8	1.9	3.7	7.4	1.9

問8. 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか

身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするかについては、「周囲の人に相談する」が43.8%で最も多く、次いで「通報する」が38.9%、「自分で止めに入る」が4.6%などとなっており、これら3つを合わせた何らかの対応をする人の割合は87.3%となっている。

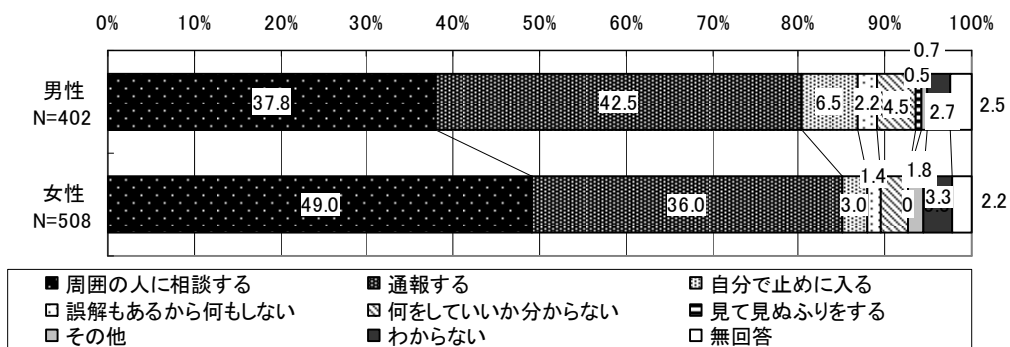
図 8-1 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか (N=918)



【性別】

性別にみると、「周囲の人に相談する」の割合は、女性の方が高く、「通報する」の割合は男性の方が高い。

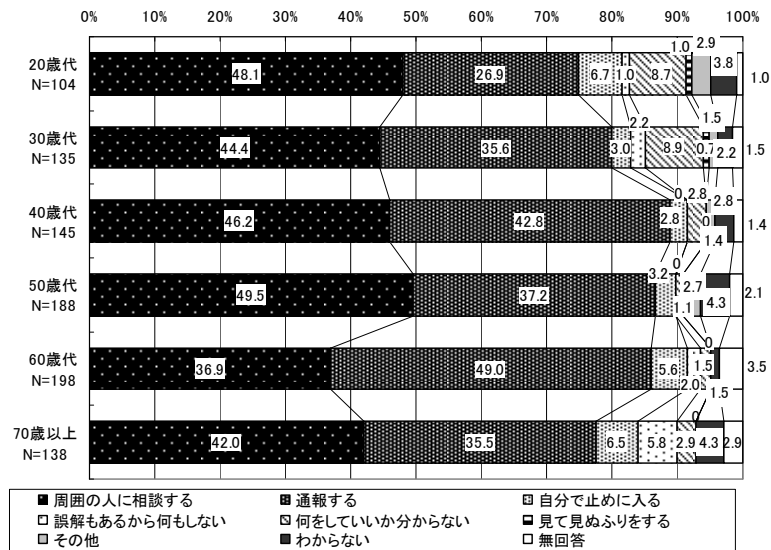
図 8-2 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか



【年代別】

年代別にみると、何らかの対応をする人の割合は、40歳代～60歳代で他と比べて高い。「通報する」の割合は60歳代で他と比べて高い。

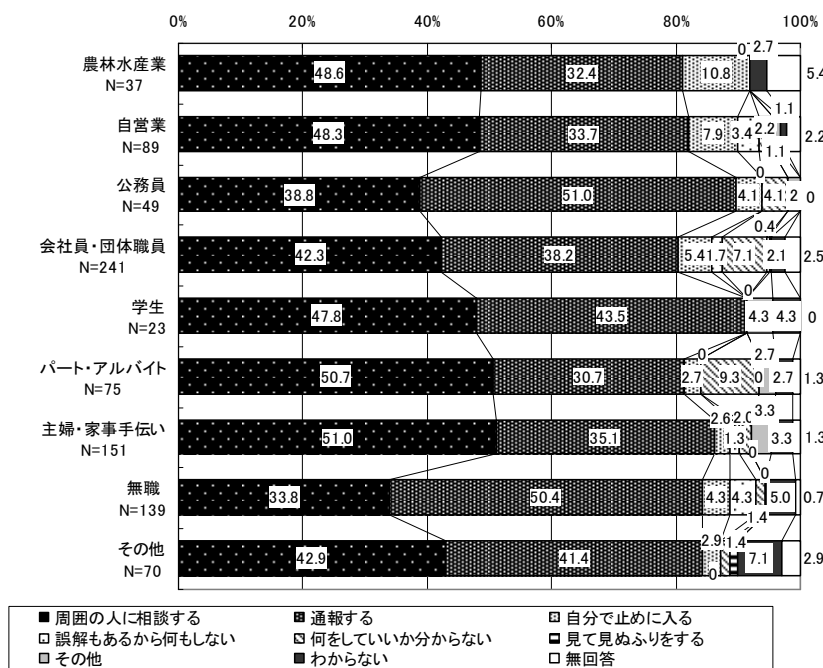
図 8-3 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか



【職業別】

職業別にみると、何らかの対応をする人の割合は、公務員、農林水産業で他と比べてやや高い。「通報する」の割合は、公務員、無職で他と比べて高い。「周囲の人に相談する」の割合は主婦・家事手伝い、パート・アルバイト、農林水産業、自営業で他と比べて高い。

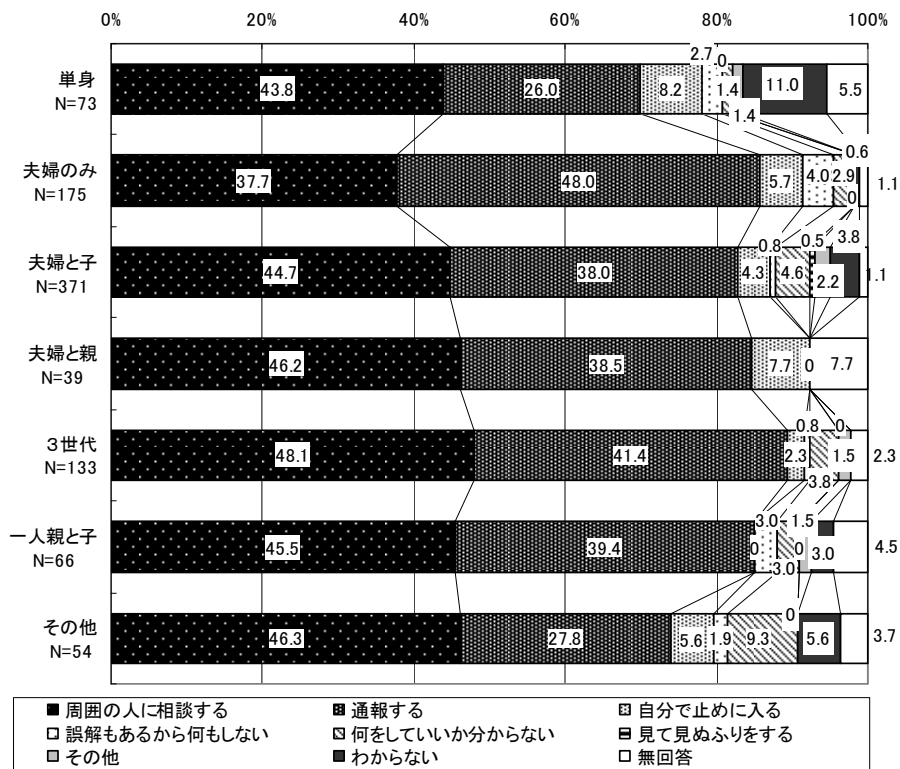
図 8-4 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか



【家族構成別】

家族構成別にみると、何らかの対応をする人の割合は、夫婦のみ、夫婦と子、夫婦と親、3世代で他と比べて高い。夫婦のみの世帯では「通報する」の割合が他と比べて高い。単身の世帯では「わからない」の割合が他と比べて高い。

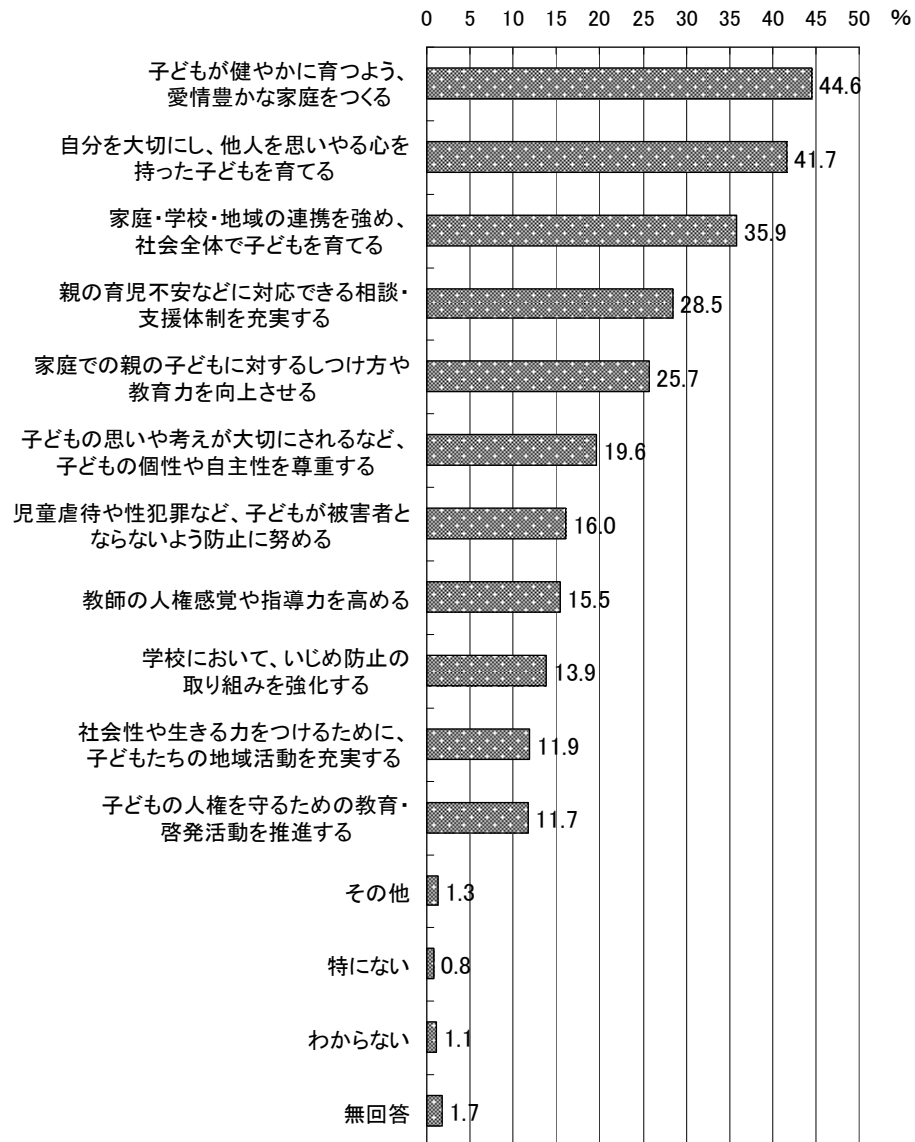
図 8-5 身近で保護者・同居人から虐待を受けている子どもがいることを知ったらどうするか



問9. 子どもの人権を守るために特に必要なこと

子どもの人権を守るために特に必要なことについては、「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」が44.6%で最も多く、次いで「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が41.7%、「家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」が35.9%などとなっている。

図 9-1 子どもの人権を守るために特に必要なこと（N=918、複数回答3）



【性別】

性別にみると、「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」及び「家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」の割合は男女差がない。「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」の割合は、女性が男性よりも 8 ポイント高い。「親の育児不安などに対応できる相談・支援体制を充実する」の割合は、女性の方が男性より 9 ポイント高い。

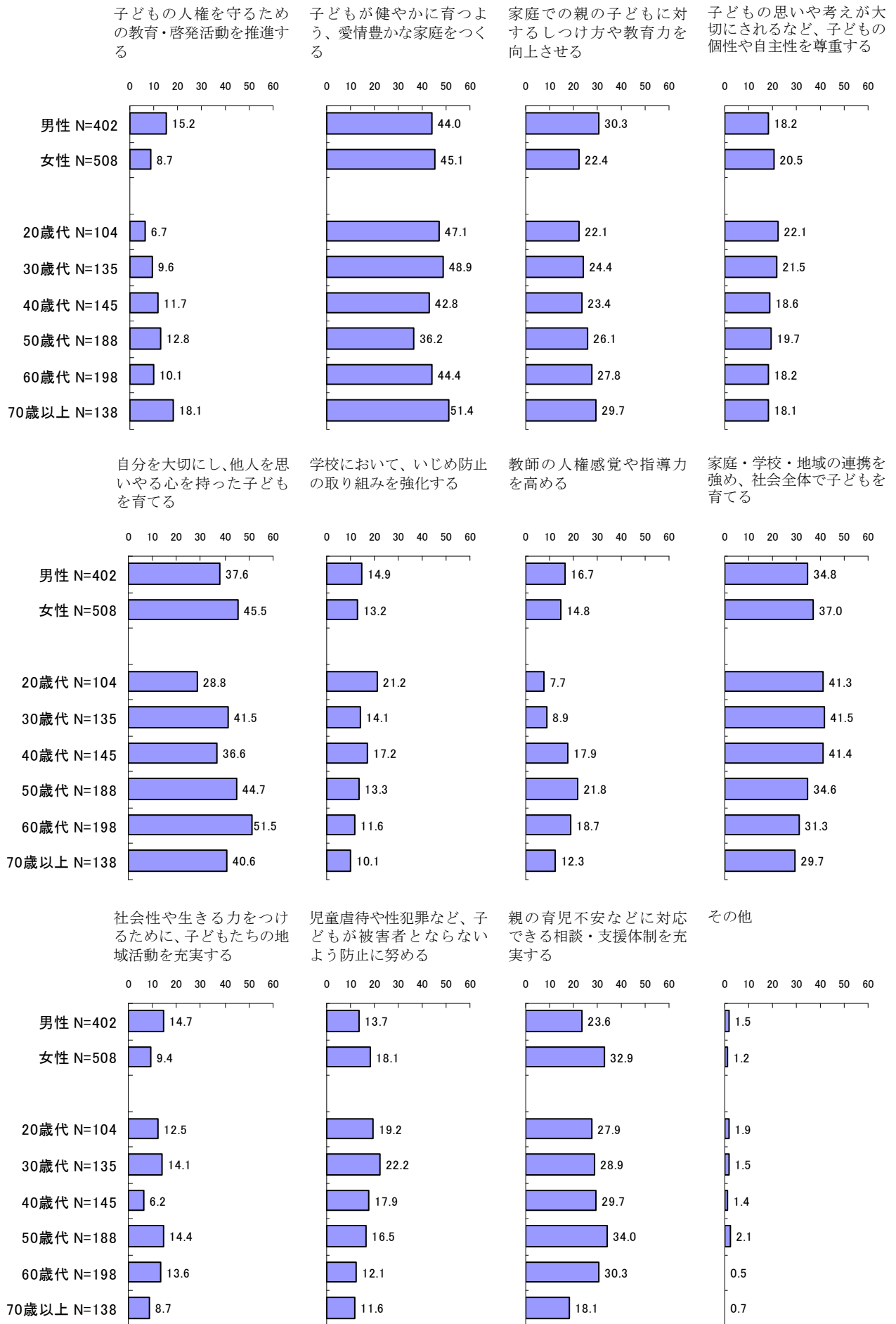
【年代別】

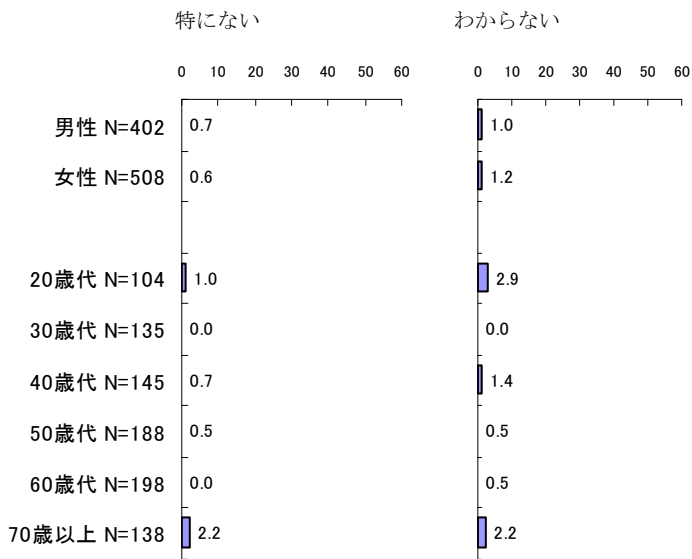
年代別にみると、20 歳代～40 歳代が、「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」が最も多く、50 歳代～60 歳代では、「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」が多くなっている。



図 9-2 子どもの人権を守るために特に必要なこと

単位：%





【職業別】

職業別にみると、「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」の割合は、農林水産業、自営業で他と比べて高い。「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」の割合は、パート・アルバイト、主婦・家事手伝い、無職で他と比べて高い。「家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」の割合は、学生、パート・アルバイトで高い。公務員、パート・アルバイトでは「親の育児不安などに対応できる相談・支援体制を充実する」の割合が高い。

図 9-3 子どもの人権を守るために特に必要なこと

単位：%

	N	子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる	家庭での親の子どもに対するしつけ方や教育力を向上させる	子どもの思いや考えが大切にされるなど、子どもの個性や自主性を尊重する	自分を大切に、他人を思いやる心を持った子どもを育てる	学校において、いじめ防止の取り組みを強化する	教師の人権感覚や指導力を高める	家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる	社会性や生きる力をつけるために、子どもたちの地域活動を充実させる	児童虐待や性犯罪など、子どもが被害者とならないよう防止に努める	親の育児不安などに対応できる相談・支援体制を充実する	その他	特にない	わからない	無回答
総数	918	11.7	44.6	25.7	19.6	41.7	13.9	15.5	35.9	11.9	16.0	28.5	1.3	0.8	1.1	1.7
農林水産業	37	27.0	62.2	27.0	24.3	40.5	8.1	21.6	18.9	5.4	10.8	18.9	-	-	-	5.4
自営業	89	12.4	51.7	29.2	22.5	36.0	10.1	18.0	38.2	9.0	20.2	22.5	2.2	1.1	-	1.1
公務員	49	12.2	34.7	34.7	22.4	36.7	6.1	22.4	38.8	12.2	12.2	42.9	-	-	-	4.1
会社員・団体職員	241	10.0	46.9	23.7	22.0	41.5	16.6	15.4	39.4	12.0	13.7	29.0	2.1	0.4	-	1.7
学生	23	8.7	34.8	17.4	13.0	13.0	17.4	8.7	56.5	17.4	30.4	21.7	4.3	-	4.3	-
パート・アルバイト	75	5.3	37.3	26.7	17.3	50.7	17.3	13.3	52.0	10.7	17.3	38.7	-	-	1.3	-
主婦・家事手伝い	151	10.6	46.4	25.8	15.2	47.0	13.9	15.9	35.1	7.9	19.9	33.8	0.7	-	0.7	1.3
無職	139	12.9	40.3	28.8	17.3	44.6	12.9	18.7	28.8	18.0	10.8	25.2	1.4	0.7	2.9	0.7
その他	70	17.1	35.7	28.6	18.6	41.4	14.3	11.4	27.1	12.9	15.7	25.7	-	1.4	2.9	1.4

【家族構成別】

家族構成別にみると、「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる」の割合は、一人親と子、夫婦のみの世帯で他と比べて高い。「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる」の割合は夫婦のみ、3世代で他と比べて高い。「家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる」の割合は、3世代や夫婦と子の世帯で他と比べて高い。夫婦と親の世帯では「家庭での親の子どもに対するしつけ方や教育力を向上させる」の割合は他と比べて高い。

図9-4 子どもの人権を守るために特に必要なこと

単位：%

	N	子どもの人権を守るための教育・啓発活動を推進する	子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくる	家庭での親の子どもに対するしつけ方や教育力を向上させる	子どもの思いや考えが大切にされるなど、子どもの個性や自主性を尊重する	自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる	学校において、いじめ防止の取り組みを強化する	教師の人権感や指導力を高める	家庭・学校・地域の連携を強め、社会全体で子どもを育てる	社会性や生きる力をつけるために、子どもたちの地域活動を充実させる	児童虐待や性犯罪など、子どもが被害者とならないよう防止に努める	親の育児不安などに対応できる相談・支援体制を充実させる	その他	特になし	わからない	無回答
総数	918	11.7	44.6	25.7	19.6	41.7	13.9	15.5	35.9	11.9	16.0	28.5	1.3	0.8	1.1	1.7
単身	73	16.4	43.8	13.7	19.2	42.5	12.3	8.2	34.2	13.7	13.7	23.3	1.4	2.7	8.2	1.4
夫婦のみ	175	7.4	50.3	27.4	22.9	49.7	9.1	19.4	30.3	15.4	14.9	23.4	0.6	-	0.6	2.3
夫婦と子	371	10.8	43.7	25.9	20.2	40.2	16.2	18.6	38.8	10.2	17.3	30.7	0.8	0.5	0.3	1.1
夫婦と親	39	12.8	46.2	38.5	20.5	25.6	7.7	10.3	35.9	7.7	12.8	38.5	-	-	-	5.1
3世代	133	10.5	48.9	27.8	17.3	41.4	13.5	9.0	39.8	9.0	15.0	30.8	3.8	-	-	1.5
一人親と子	66	13.6	33.3	27.3	10.6	50.0	13.6	19.7	33.3	16.7	19.7	27.3	-	1.5	-	-
その他	54	24.1	35.2	22.2	18.5	31.5	24.1	7.4	31.5	11.1	16.7	29.6	3.7	1.9	3.7	3.7